

岩手県高等学校文化連盟放送専門部

平成 25 年度 第 2 回理事会

平成 25 年 9 月 6 日(金) 15:00 ~ 17:00

盛岡北高等学校 南講義室

次第

開会

専門部長挨拶

自己紹介

議長選出

報告	1	平成 25 年度前半の事業報告・大会結果	3
協議	1	NHK 杯県大会決算報告	4
	2	セミナーサポート事業 メディアコミュニケーションセミナー 開催要項	5
	3	新人大会開催要項	6
	4	セミナーサポート事業 番組講習会開催要項	5
	5	セミナーサポート事業 アナウンス朗読講習会開催要項	5
	6	校内放送指導者講座等への顧問教員の派遣	5
	7	その他	5
連絡	1	部員数調査のまとめ(別紙)	6
	2	平成 25 年度後半の事業日程	6
	3	高文連表彰について	6
	4	平成 26 年度以降の事業日程(予定)	7
	5	平成 26 年度以降の上位大会	9
	6	その他	10
閉会			
資料		平成 25 年度大会結果	10
		岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約	10

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/2013/bod20130906.pdf>

平成 25 年度役員 (理事校 26 校)

専門部長	岩手県立盛岡北高等学校長	内藤賢一	事務局校
副専門部長	岩手県立盛岡第四高等学校長	工藤良裕	次期事務局校
専門部代表理事	岩手県立盛岡北高等学校	田口キヨ	事務局長
専門部理事			
岩手県立盛岡第一高等学校	濱谷伸広・谷藤さなえ		平成 44～45 年度事務局校
岩手県立盛岡第二高等学校	小田諭		平成 32～33 年度事務局校
岩手県立盛岡第三高等学校	大内寿文		平成 34～35 年度事務局校
岩手県立盛岡第四高等学校	水車明子(監事)・園城寺隆英		次期事務局校
岩手県立盛岡北高等学校	田付晋也・清瀬剛志・熱海千乃・佐々木均・佐藤昇広(事務局)		
岩手県立盛岡南高等学校	細川明典・川崎博子		平成 36～37 年度事務局校
岩手県立不来方高等学校	千葉英二・小野寺晶子		平成 38～39 年度事務局校
岩手県立杜陵高等学校定時制	後藤靖行・佐藤素子		
岩手県立盛岡工業高等学校	川守徹也・太田原章克		平成 40～41 年度事務局校
岩手県立盛岡商業高等学校	高橋昭宏・日當稲子		平成 42～43 年度事務局校
盛岡市立高等学校	菊池博之(監事)・田村亜希子		平成 46～47 年度事務局校
岩手高等学校	松田満(盛岡支部理事)・堀江崇子		平成 28～29 年度事務局校
盛岡白百合学園高等学校	熊谷奈穂		平成 30～31 年度事務局校
岩手県立花巻北高等学校	金田知佐子(花巻支部理事)・高橋愛		
岩手県立黒沢尻北高等学校	曾我範晃(北上支部理事)・小野寺優		
専修大学北上高等学校	昆洋子・野村学		
岩手県立前沢高等学校	川原恵理子(奥州支部理事)・小野寺幸利		
岩手県立岩谷堂高等学校	都澤真生・佐々木実・野田啓志		
岩手県立大船渡高等学校	菊田光哉(気仙支部理事)		
岩手県立大船渡東高等学校	菊地晋哉		
岩手県立釜石高等学校	高橋篤志(釜石支部理事)・黄川田孝人・庄司晃子		
岩手県立大槌高等学校	高橋啓		
岩手県立宮古高等学校	山崎治子(宮古支部理事)・小成幸男		
岩手県立宮古工業高等学校	菊地達哉(上位大会担当)・和山真也		
	NHK 杯運営委員・高文連全国放送専門部理事・東北アナ朗事務局		
岩手県立久慈高等学校	木村飛雄馬(久慈支部理事)		
岩手県立福岡高等学校	松尾美幸(二戸支部理事)・阿部智則		
			空席 一関支部理事

報告 1 平成 25 年度前半の事業報告・大会結果

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	9	火	県高文連第1回理事会	サンセール盛岡	県高文連
4	25	木	理事総会・第1回理事会	盛岡北高	放送専門部
5	17	金	県高文連事務局長会議他	サンセール盛岡	県高文連
5	21	火	第65回岩手県高等学校総合体育大会開会式 司会 (盛岡第一・盛岡第二)	運動公園	協力事業 県高体連
6	3 4	月 火	第36回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第60回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会 (23校・215+322名・195エントリー)	県民会館	放送専門部・NHK
7	1 2	月 火	第13回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト (7校・20名・13エントリー)	細野地区活性化センター	東北高文連 主管事業
7	13	土	アナウンス朗読講習会 (9校・35名)	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	20	土	交通安全テレビCM制作講習会1 (4校・42名)	IBC岩手放送	協力事業 IBC岩手放送
7	22 25	月 木	第60回NHK杯全国高校放送コンテスト (9校・78名・24エントリー)	NHKホール他(東京)	全放連・NHK
7	25	木	Nコン番組制作セミナー (5校・44名)	NHKふれあいホール(東京)	全放連・NHK
7	27	土	交通安全テレビCM制作講習会2 (5校・49名)	IBC岩手放送	協力事業 IBC岩手放送
8	2	金	高文連全国放送専門部理事会	諫早文化会館	全国高文連
8	3 4	土 日	第37回全国高等学校総合文化祭(長崎大会) 放送部門(6校・22名・9エントリー)	諫早文化会館	全国高文連
8	10	土	短歌甲子園アナウンス講習会 (6校・25名)	おでって	盛岡支部協力事業 盛岡市
8	21 23	水 金	第8回全国高校生短歌大会 司会 (盛岡第一・盛岡第二・盛岡第三・盛岡市立・岩手・盛 岡白百合)	姫神ホール・盛岡劇場	盛岡支部協力事業 盛岡市
9	6	金	第2回理事会	盛岡北高	放送専門部

おもな上位大会結果...18 ページ以降の「平成 25 年度大会結果」参照。県勢の全国大会入賞は次の 8 つ。

(1) 第 60 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト

アナウンス部門 6 年ぶりの決勝進出

アナウンス部門	黒沢尻北(3)	千葉紗也香	優秀賞(3~4位相当)
	盛岡第一(3)	上山晴美	入選(11~60位相当)
	盛岡白百合(3)	江川みどり	入選(11~60位相当)
朗読部門	盛岡第一(3)	梁田麻佳	入選(11~60位相当)
	黒沢尻北(3)	及川愛海	入選(11~60位相当)
	盛岡第三(3)	柴崎文葉	入選(11~60位相当)
ラジオドキュメント部門	黒沢尻北	俺達のジガモガ八	制作奨励(21~40位相当)
創作ラジオドラマ部門	黒沢尻北	恋と文房具	入選(6~10位相当)
校内放送総選挙	盛岡第一		第7位
花は咲くビデオ	宮古工業		入賞(4~10位相当)

(2) 第 37 回全国高等学校総合文化祭放送部門

入賞なし(3年ぶり)

今年度の高文連紀要「参加者の声」の原稿は、NHK 杯については黒沢尻北に、全国総文祭については宮古に、それぞれ依頼します。

協議 1 NHK 杯県大会決算報告

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
1 参加料	160,000	162,000	2,000	一般会計収C-01
2 県高総文祭部門費	40,000	40,000	0	一般会計収D-01
3 専門部補助	100,000	44,556	-55,444	一般会計収D-04
4 強化費	40,000	0	-40,000	一般会計収D-03
5 一般会計より	10,000	0	-10,000	一般会計収B
合計	350,000	246,556	-103,444	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 報償費				
A-01 審査員謝金	20,000	0	20,000	NHK以外の専門職審査員の場合1名
A-02 表彰費	45,000	42,240	2,760	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	65,000	42,240	22,760	
B 旅費				
B-01 県大会関係	60,000	67,251	-7,251	第1回理事会・設営等
B-02 上位大会関係	115,000	45,600	69,400	担当者会議・全国大会運営委員
旅費小計	175,000	112,851	62,149	
C 需用費				
C-01 食糧費	60,000	54,480	5,520	審査員・係昼食
C-02 資料費	10,000	2,835	7,165	事務用品
需用費小計	70,000	57,315	12,685	
D 役務費	5,000	1,885	3,115	郵券・上位大会手続き・手数料
E 予備費	35,000	32,265	2,735	上位大会被災校参加料
総計	350,000	246,556	103,444	

3 残高

$$\text{収入済額} - \text{支出済額} = 246,556 - 246,556 = 0$$

監査の結果、適正と認めます。

平成25年9月6日

監査 菊池博之

監査 水車明子

- ・参加料収入が前年度決算額と比べて8,000円増えた。
- ・被災校の参加料免除, 専門部会計の学校登録料免除をおこなった。
- ・支出決算額は前年度決算額と比べて9,563円の増加であった。
- ・被災校の東北アナウンス朗読コンテスト参加料7,500円+手数料105円を予備費から支出した。
- ・被災校のNHK全国高校放送コンテスト参加料24,000円+手数料660円を予備費から支出した。

協議 2 セミナーサポート事業 メディアコミュニケーションセミナー 開催要項
(省略 放送専門部のサイト参照 <http://www2.iwate-ed.jp/housou/2013/semi2013-3.pdf>)

協議 3 新人大会 開催要項
(省略 放送専門部のサイト参照 <http://www2.iwate-ed.jp/housou/2013/shin2013.pdf>)

協議 4 セミナーサポート事業 番組講習会 開催要項
平成 25 年 11 月 24 日(日) 9:30 ~ 15:00 岩手県民会館 東北大会番組代表対象
参加申込締切: 11 月 8 日(金)正午
実施要項は、関係各校に、新人大会後にお送りします。

協議 5 セミナーサポート事業 アナウンス朗読講習会 開催要項
平成 25 年 12 月 23 日(月) 14:00 ~ 17:00 岩手県民会館 東北大会アナ朗代表対象
参加申込締切: 12 月 6 日(金)正午
実施要項は、関係各校に、新人大会後にお送りします。

協議 6 校内放送指導者講座等への顧問教員の派遣
校内放送指導者講座(全放連主催)
平成 25 年 12 月 26 日(木) ~ 27 日(金) 千代田放送会館(東京)
顧問対象の研修会。予算の執行状況、東北大会の準備状況をみながら、上位大会進出校の顧問の派遣、参加希望者の参加料補助などをおこないます。
他の都道府県の研修会等の行事も、放送専門部のメーリングリストで紹介します。

協議 7 その他

連絡1 部員数調査のまとめ(別紙, 当日配付)

連絡2 平成25年度後半の事業日程

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
9	15	日	放送講習会 広島井口高校放送部・永尾和子先生	県民会館	放送専門部
9	19	木	東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	仙台市青年文化センター	東北高文連
10	4	金	第36回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式 (司会: 前沢)	奥州市文化会館	県高文連 (奥州支部主管)
10	9	水	セミナーサポート事業 メディアコミュニケーションセミナー	県民会館他	放送専門部
11	5 6	火 水	第36回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第31回岩手県高等学校放送新人大会	県民会館	放送専門部
11	19	火	第9回高校生交通安全テレビCMコンテスト	盛岡グランドホテル	協力事業 岩手県
11	24	日	セミナーサポート事業 番組講習会	県民会館	放送専門部
12	23	月	セミナーサポート事業 アナウンス朗読講習会	県民会館	放送専門部
12	26 27	木 金	校内放送指導者講座	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK
2	8 9	土 日	第17回東北高等学校放送コンテスト	仙台市青年文化センター	東北高文連
2	中・下旬		第3回理事会・会計監査・盛岡第四高へ引継ぎ	盛岡北高	放送専門部
3	下旬		第61回NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	(東京)	全放連・NHK
3	26	水	番組講習会	アイーナ	放送専門部 盛岡支部

連絡3 高文連表彰について

次のとおり県高文連に推薦しました。表彰式は、連盟賞は県高総文祭総合開会式(10月4日(金), 奥州市文化会館)で、功労賞は10月11日にサンセール盛岡でおこなわれます。

連盟賞(生徒表彰)...平成24年9月1日~平成25年8月31日に全国大会(総文祭・NHK杯など)で優良賞(3位)以内に入賞した個人及び部(団体)。

・黒沢尻北高校 千葉紗也香...

第60回NHK杯全国高校放送コンテストアナウンス部門優秀賞

功労賞(教職員表彰)...平成24年度末に退職した教職員で、専門部長・指導者として全国大会優良賞(3位)以内に入賞したもの、指導者として全国大会に10回以上出品・出演させたもの。

・佐野武徳先生 盛岡北高校長で退職, 前専門部長

・吉田文夫先生 花巻南高校長で退職, 平成18年度全国総文祭(京都)VM部門優秀賞(黒沢尻北高), 平成16年度全国総文祭(徳島)AP部門特別賞(黒沢尻北高)ほか全国大会出場多数

連絡 4 平成 26 年度以降の事業日程(予定)

(1) 平成 26 年度の日程(確定)

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	中・下旬		理事総会・第1回理事会	盛岡第四高	放送専門部
6	2 3	月 火	第37回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第61回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会	県民会館	放送専門部・NHK
6 7	30 1	月 火	第14回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト	細野地区活性化センター	東北高文連 主管事業
7	中旬		セミナーサポート事業 アナウンス朗読講習会	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	21 24	月 木	第61回NHK杯全国高校放送コンテスト	NHKホール他(東京)	全放連・NHK
7	24	木	Nコン番組制作セミナー	(東京)	全放連・NHK
7	29	火	高文連全国放送専門部理事会	茨城県日立市 ホテルテラスザスクエア日立	全国高文連
7	30 31	水 木	第38回全国高等学校総合文化祭(茨城大会)放送部門	日立シビックセンター	全国高文連
9	上・中旬		第2回理事会	盛岡第四高	放送専門部
9	中旬		東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	(山形県)	東北高文連
9	14	日	セミナーサポート事業 放送講習会	県民会館	放送専門部
10	10	金	第37回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	県民会館	県高文連 (盛岡支部主管)
10	15	水	セミナーサポート事業 メディアコミュニケーションセミナー	県民会館他	放送専門部
11	4 5	火 水	第37回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第32回岩手県高等学校放送新人大会	県民会館	放送専門部
11	23	日	セミナーサポート事業 番組講習会	県民会館	放送専門部
12	23	火	セミナーサポート事業 アナウンス朗読講習会	県民会館	放送専門部
12	下旬		校内放送指導者講座	(東京)	全放連・NHK
2	上・中旬		第18回東北高等学校放送コンテスト	(山形県)	東北高文連
2	中・下旬		第3回理事会・会計監査	盛岡第四高	放送専門部
3	下旬		第62回NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	(東京)	全放連・NHK

(2) 日程の原則と平成 27 年度会場予約(県民会館)の予定 (10月24日訂正)

ア NHK 杯県大会(県民会館)

原則: 6月第2週の月曜(準備・大会, 13:30-)・火曜(大会)...高総体後・考査前

候補日: 平成27年6月8日(月)-9日(火)

イ 放送講習会(県民会館)

原則: 9月3連休(以上)の初日(準備, 17:30-)・中日(行事)...県外校招聘のため

候補日: 平成27年9月19日(土, 準備)-20日(日)

ウ メディアコミュニケーションセミナー(県民会館)

原則: 10月第2火曜(体育の日, 準備)・水曜(行事)...高総文祭開会式(久慈)後

候補日: 平成27年10月13日(火, 準備)-14日(水)

エ 新人大会(県民会館)

原則: 11月第2週の火曜(準備・大会, 13:30-)・水曜(大会)

...運動部の新人大会後・考査前

候補日: 平成27年11月10日(火)-11日(水)

オ 11月番組講習会

原則: 11月下旬の土曜(準備, 17:30-)・日曜(行事)...修学旅行前

候補日: 平成27年11月28日(土)-29日(日)

カ 12月アナ朗講習会

原則: 天皇誕生日...終業式後

候補日: 平成27年12月23日(水・祝)

キ 3月番組講習会

原則: 3月下旬...終業式後

候補日: 平成28年3月25日(金)

連絡 5 平成 26 年度以降の上位大会

(1) 確定している日程等

ア NHK 杯全国高校放送コンテスト全国大会決勝の日

第 61 回大会 平成 26 年 7 月 24 日(木)

第 62 回大会 平成 27 年 7 月 23 日(木)

イ 全国高等学校総合文化祭開催県

平成 26 年茨城県 7 月 30 日(水)-31 日(木) 茨城県日立市 日立シビックセンター

平成 27 年滋賀県 7 月 31 日(金)-8 月 1 日(土) 滋賀県栗東市 栗東芸術文化会館さくら

平成 28 年広島県 平成 29 年宮城県 平成 30 年長野県

ウ 東北高等学校放送コンテスト開催県

平成 26 年度山形県 平成 27 年度秋田県 平成 28 年度青森県 平成 29 年度岩手県 平成 30 年度宮城県 平成 31 年度福島県

秋田から時計回りを原則とする。21 年度からの 3 回りめのローテーションでは、23 年度の全国総文祭に備えて 22 年度に福島県を入れ、他をずらした。27 年度からの 4 回りめのローテーションでは、29 年度の全国総文祭に備えて 28 年度に宮城県を入れ、他をずらす可能性もある。

(2) 平成 26 年度 NHK 杯の朗読指定作品 http://www.nhkk.or.jp/ncon/ncon_h/

1) 「地獄変・偷盗」芥川龍之介(新潮文庫)

2) 「残るは食欲」阿川佐和子(新潮文庫)

3) 「神去(かむさり)なあなあ日常」三浦しをん(徳間文庫)

4) 「怪談 - 不思議なことの物語と研究」ラフガディオ・ハーン著、平井呈一訳(岩波文庫、指定された訳者のみ)

5) 「平家物語」(現代語訳不可、出版社不問)

(3) 全国総文祭放送部門について

・規約の改定...理事会で規約の改正をおこなった。

・表彰...平成 24 年(富山大会)から、発表時間帯でブロックに分け、個別審査で各ブロックから優秀賞 1・特別賞を出し、個々の審査点を都道府県ごとに加算して第 1 位の都道府県に文部科学大臣賞を、第 2 位に文化庁長官賞を出すこととした。平成 25 年度の文部科学大臣賞は北海道、文化庁長官賞は長野県が選ばれた。

・表彰に関する問題点...開催県は倍エントリーであるため複数ブロックに入ることとなり、文部科学大臣賞に選ばれやすい。開催県を 1 ブロックに収める必要がある。また、今年度は開催県の都合で都道府県ごとの発表がばらばらにされてしまった。交流の場という「開催基準」にあわない実態となっており、これももとに戻す必要がある。各部門における都道府県単位の発表(岩手案)については、長期的な検討のまま、保留となった。

・年 1 度の理事会では合意形成が難しいことから、6 県会議(全国総文祭開催前後 6 県)を基本に常任理事会を構成し、ここで原案をつくって理事会で承認する方式で今後のあり方を検討することを、岩手県として提案し、長期的に検討する方向となった。

(5) 平成 26 年度・27 年度全国総文祭放送部門の要項(別紙、当日配付)

(6) 平成 26 年度全国総文祭のブロック

全国理事会での抽選の結果，次のとおりとなった。

- ・アナウンス部門...ブロック F(北海道・岩手・福島・石川・山口・沖縄)
- ・朗読部門...ブロック A(岩手・山形・長野・奈良・広島・福岡)
- ・オーディオピクチャー部門...ブロック A/B(岩手・栃木・奈良・福岡・長崎・鹿児島 / 北海道・栃木・東京・新潟・愛知・宮崎)
- ・ビデオメッセージ部門...ブロック A(岩手・栃木・奈良・福岡・長崎・鹿児島)

連絡 6 その他

- ・盛岡支部放送専門部番組講習会(担当：松田)

3月26日(水) アイーナ 804A 会議室 講師：瀬川徹夫 氏

<http://www.fujitv.co.jp/filmania/archive/010.html>

- ・NHK 杯 60 周年記念誌と月刊視聴覚教育の原稿について(担当：菊地，当日配付)

資料 平成 25 年度大会結果

(省略 放送専門部のサイト参照 <http://www2.iwate-ed.jp/housou/2013/>)

資料 岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約

(省略 第 1 回理事会資料参照 <http://www2.iwate-ed.jp/housou/2013/bod20130425.pdf>)